

## セラウッドファニチャー CWF-20 取扱説明書

塗膜特徴	高耐候性、低汚染性（高架橋密度）、常乾・強制乾燥型	
用途	ノントルエン・キシレンタイプ 2液型有機無機複合系上塗り塗料	
配合	A液：B液：シンナー＝4：1：2～3.5 + 促進剤 CW-X-1（Aに対して） ※セラミックパウダーを配合している特殊な塗料のため、塗装時は15～30分に1度程度の攪拌を行い使用して下さい。	
希釈シンナー	低温時（15℃以下）	CW-T-100・CW-T-200
	中温時（15～25℃）	CW-T-500
	高温時（25℃以上）	CW-T-800・CW-T-リターダー

## 促進剤添加表

	10℃以下	10～15℃	15～20℃	20～25℃	25℃以上
CW-X-1 (%)	4～5	4	3～4	2～2.5	0～2

※塗膜性能維持のため、必ず促進剤を添加して下さい。

適正粘度	9～11秒（岩田 NK-2 カップ、調合時粘度）	
適正塗布量	4～6 g/尺 <sup>2</sup>	
可使時間	約3時間	（20℃ 60%RH CW-T-500 50%希釈 促進剤4%）
指触乾燥時間	10～15分	（20℃ 60%RH 6g/尺 <sup>2</sup> CW-T-500 50%希釈 促進剤4%）
指圧乾燥時間	40～50分	（20℃ 60%RH 6g/尺 <sup>2</sup> CW-T-500 50%希釈 促進剤4%）

乾燥条件 低中温時：特殊な塗料の為、20℃以下の条件下で塗装される場合は塗膜の反応が遅れ、十分な塗膜物性が得られるまで時間がかかります。完全な塗膜物性を得るために、指圧乾燥後 30～35℃で3時間程度の加熱をお勧めします。また、より早く塗膜物性を得るには指圧乾燥後のIR（雰囲気60℃10分）による乾燥をお勧めします。また、反応促進剤の外部混合方式が大変効果的です。

（乾燥例）塗装後 常温1時間→強制乾燥（35℃）3時間→常温おぼろけ

高温時：常温にて乾燥。

※特に低温時においては一般のウレタン塗料に比較し、塗膜強度の立ち上がりが遅くなる（1～2週間程度）傾向が見られますので、取り扱いには十分注意してください。

カラーイング方法 塗装時、カラーイングをされる場合は以下の方法で行ってください。  
・セラウッドファニチャー CWF-カラーイングクリヤーを使用される場合は主剤をCWシリーズシンナーにて100～150%カットし、適量のステインを添加し塗装してください。CWF-カラーイングクリヤーは1液型で

すので、カラーイングは厚塗りせず、必ず2液型の CWF-20 を十分に塗り重ね、なじませて下さい。

- ・2液でカラーイングを行う場合は、専用シンナーで150%カットし適量のステインを添加し塗装を行ってください。

#### 注意事項

- ・塗膜性能維持のために上記の表を参照し、促進剤(CW-X-1)を必要量添加して下さい。
- ・正常な塗膜物性を得るために、専用シンナーをご使用ください。
- ・下地はウレタン、UV、ポリエステル系と幅広く密着しますが、他社品の中塗りを御使用の場合、特殊な塗料であるために、物性や密着等十分な確認の上、御使用ください。
- ・A液は体質顔料等が沈降している場合がありますので、よく振ってご使用ください。
- ・塗料は使用后速やかに密栓し、冷暗所に保存してください。特にB液は水分と反応し劣化しやすいので注意してください。
- ・塗料は調合時によく攪拌してご使用ください。

堀金箔粉株式会社